

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号 118

江戸川区立二之江小学校

| 「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差 | | | | 「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差(令和8年度の目標は、前年度の当該学年より+2ポイントを目指す。) | | | | | | | | | |
|--------------------------|------|------|------|---|------|------|------|------|------|------|------|------|--|
| 学年 | 第6学年 | | | 学年 | 第3学年 | | 第4学年 | | 第5学年 | | 第6学年 | | |
| 年度 | 国語 | 算数 | 合計 | 年度 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 | |
| 令和12年度の目標 | | | | 令和12年度の目標 | | | | | | | | | |
| 令和11年度の目標 | | | | 令和11年度の目標 | | | | | | | | | |
| 令和10年度の目標 | | | | 令和10年度の目標 | | | | | | | | | |
| 令和9年度の目標 | | | | 令和9年度の目標 | | | | | | | | | |
| 令和8年度の目標 | 0 | 0 | 0 | 令和8年度の目標 | -3.0 | -2.0 | -3.6 | -2.4 | -0.8 | 3.0 | 1.3 | 2.6 | |
| 令和7年度の結果 | -1.0 | -1.0 | -1.0 | 令和7年度の結果 | -5.6 | -4.4 | -2.8 | 1.0 | -1.3 | 0.6 | 0.4 | 1.1 | |
| 令和6年度の結果 | -0.4 | -1.6 | -1.0 | 令和6年度の結果 | -9.0 | -1.1 | -0.5 | 1.6 | -2.5 | -2.2 | -5.5 | -7.6 | |
| 令和5年度の結果 | -0.4 | -0.8 | -0.6 | 令和5年度の結果 | | | | | | | | | |

| 年度 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|------|---|--|
| 内容 | 成果と課題 | 目標 目標達成に向けた取組 |
| 学校全体 | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全校でよむYOMUワークシートに取り組み、文章題に抵抗なく取り組むことができた児童が増えた。 ○算数科では、家庭学習や授業において基礎基本の定着を図り、学習カルテを活用したりすることで区の平均を上回る学年が増えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○江戸川区学力調査の結果より、3～6年の国語科の「読むこと」の領域が全国の平均を下回っている。 ○全国学力・学習状況調査の結果から、算数科では、「測定」の区分の得点率が低かった。国語科では、「読むこと」の区分が全国平均より10ポイント以上低かった。 | <ul style="list-style-type: none"> ○国語科において、読解力の向上を図る授業展開を目指す。 ○朝読書の時間を徹底する。 ○よむYOMUワークシートの確実な実施と効果的な活用を目指す。 ○各学年に応じた計算ができるようにする。 |
| 第1学年 | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音読の機会をたくさん与え、文章で単語のまわりを意識して読むことができた児童が多い。 ○一人一人、ひらがな・カタカナの字を、全ての児童が正しい字形で書くことができた。 ○10の構成をほとんどの児童が理解することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文章を書く際に、「。」や「、」の使い方のルールがわからない児童が多い。 ○2割程度、繰り上がり、繰り下りの理解が不十分な児童がいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○読書を通して「読む力」や「語彙」を身につけ、豊かな感性を育てていく。 ○算数科で、数感覚を育成する。 ○算数科の繰り上がりや繰り下りについて、全員が年度末までに習熟できるようにする。 |
| 第2学年 | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よむYOMUワークシートに取り組み、新聞記事に興味をもち、楽しんで文章を読む姿が見られた。 ○単元毎に漢字のミニテストを実施し、学期の漢字まとめテストでは、平均を8割以上とすることができた。 ○かけ算九九は、ほとんどの児童が習得することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文章を書く際に、学んだ漢字を使う、「の」使い等のルールが十分に守れていない児童が2割程度いる。 ○繰り下りのひき算、かけ算九九の定着が不十分な児童が2割程度いる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○読書やよむYOMUワークシートを通して「読む力」や「語彙」を身につけ、豊かな感性を育てていく。 ○国語科では、漢字の練習をたくさん行い、2年生までに習う漢字を読んだり、文章の中で使ったりできるようにする。 ○算数科では、たし算とひき算の筆算の仕方を習熟できるようにし、九九の暗唱を年度末までに全員ができるよう指導する。 |
| 第3学年 | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎日の宿題(音読・漢字・算数)に取り組んだ。特に算数科では3桁×2桁のかけ算の習熟を図るため、1学期に九九百マスプリント、2学期に3桁×1桁のプリント、3学期に3桁×2桁のプリントを繰り返し行い習熟させた。また、ミライシードのドリルパークを活用して漢字や算数科の習熟を年間通して行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○江戸川区学力調査の結果から、国語科で全国平均より5.6ポイント、算数科で-4.4ポイントであった。特に応用において全国平均との差が国語科-8.4、算数科-7.3であった。領域別では国語科で「話す・聞く」が低く、算数科では「測定」が低かった。校内研究で追求してきた一人一人の児童に「読む力」をつけることができるよう引き続き取り組むことにより、国語科、算数科の両方の「応用」でも力を発揮できるように考えていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○読書やよむYOMUワークシートを通して「読む力」や「語彙」を身につけ、豊かな感性を育てていく。 ○国語科では、CD層を引き上げる。3年生までの漢字を読んだり文章の中で使ったりできるようにする。 ○算数科の四則計算について、全員が年度末までに習熟できるようにする。 |
| 第4学年 | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よむYOMUワークシートの取組、国語科の授業を通して、江戸川区学習調査では、前年より約6ポイント上げることができた。 ○区の学力テストを学習カルテを作成し、苦手なところの復習をした。江戸川区学習調査では、全国の平均を上回ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○江戸川区学力調査の結果から、国語科では約55%がCD層に属している。 ○江戸川区学力調査の結果から、「書くこと」が-6.8と課題になっている。 ○江戸川区学力調査の結果から、算数科では、データの活用が-2.8と課題になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○国語科では、CD層を引き上げる。要点を落とさずに聞いたり、相手に伝えるように順序を考えて話したりすることができるようにする。 ○算数科では、数と計算及び測定に置いて系統性を意識した指導を行い、理解を確実にする。 |
| 第5学年 | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○類似問題に繰り返し取り組ませること、基礎的な知識・技能の定着を図ることができ、国語、算数ともに平均値に近づく結果となった。 ○算数では、系統性を意識した授業を展開したことで、既習事項との関連を理解しやすくなり、知識・技能分野では、全国平均を上回ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○江戸川区学力調査の結果から、国語科算数科ともに、約45%がCD層に属している。 ○江戸川区学力調査の結果から、国語科では、言葉、情報、言語文化分野が-2.9と課題になっている。 ○江戸川区学力調査の結果から、算数科では、思考判断表現が-3.5と課題になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○国語科では、CD層を引き上げる。自分の考えや思いを躊躇なく「書く」ことができるようにする。 ○算数科では、習熟度に応じた授業展開を確実に実施する。基礎的・基本的な計算能力を向上させる。 |
| 第6学年 | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よむYOMUワークシートの取組、国語科の授業研究を通して、江戸川区学習調査では、前年よりA層が約11%増えることができた。 ○算数では、系統性を意識した授業を展開したことで、既習事項との関連を理解しやすくなり、知識・技能分野では、全国平均を上回ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○江戸川区学力調査の結果から、国語科算数科ともに、約55%がCD層に属している。 ○江戸川区学力調査の結果から、国語科では、「書くこと」の分野が-2.7と課題になっている。 ○江戸川区学力調査の結果から、算数科では、思考判断表現が-2.5と課題になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○国語科では、CD層を引き上げる。自分で語彙を調べたり、適切な言葉を使って話すことができるようにし、言葉、情報、言語文化を伸ばす。 ○算数科では、基礎的・基本的な分野や系統性を大切にしながら、思考判断表現の能力を向上させる。 |